



# なのはな通信

24年度 六ツ美中部小学校

校長室だより No. 14

平成24年10月23日

## 将来の夢を抱いて、役者になりたいと挑む子！

民話や昔話、童話や物語、先生の創作した劇などを全学級が演じられる学校は、そんなに多くはありません。児童数の多い学校は、音楽の発表会を入れたり、代表学級のみになったりします。また、児童数の少ない学校は、台詞の数も多く、劇と楽器演奏と合唱ありの大忙しです。中部の子たちは、役者がそろっています。役になりきり、真剣に語り、表情豊かに演じることが出来ます。中には、はずかしそうに舞台の前に出られない子もいますが、自分の立ち位置をこころえており、引っ込んでやりません。その自信は、明らかに担任の先生たちの支えと家族の方の協力からきています。夏休みから、脚本を読んで選び、衣装を準備してきています。何度も練習を繰り返して、プロの役者さながらの迫真の演技をする子もいました。

主役になれなくても、舞台を支えてくれる子や、黒子のように目立たない役を一生懸命に努めた子もいました。ひとつの作品を創ることは、すべてのスタッフが映画や舞台のように音響も舞台装置や照明も、影になり総合力としての役割を果たさなければなりません。

いま、家でゲームやテレビばかりにのめり込んで、自己表現が苦手であったり、人との関係がうまくできなかつたりする子がいます。中部小の目指す教育は、まさに学芸会や授業のように、集団のなかで自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を理解するとともに、ものごとに主体的に参加しようとする態度を養うことなのです。そんな視点で撮影したビデオを見て振り返っていただけると幸いです。

すばらしい学芸会になりましたが、1年生のピノキオが終わると、大波が引くように観客が少なくなっていました。他の学年や学級の子たちの劇も観ていただける学芸会になるように来年は考え直さないと子どもたちがかわいそうだと感じました。ご助言をいただければ幸いです。



5年1組 「とべないホテル」



2年1組「はたけのしたは おおさわぎ」



3年1・4組「たぬきばやし」



2年2・4組「おぼけじぞう」



4年1組「ないた赤おに」



1年「ピノキオ」





合唱部「あした笑顔になあれ」  
CBC子ども音楽コンクール優秀賞



6年1組「おかあさんの木」



5年2・3組「まぬけ村物語」



3年2組「桃次郎の冒険」



6組合唱「瑠璃色の地球」



4年2組「たろ天じろ天」



「児童代表あいさつ」



6年2組「故郷は地球」

6年生にとって最後の「学芸会」は、満足できるものになったと思います。学級の「協合力」を十分に発揮し、思い出に残る学芸会にすることができたのも、一人一人の力いっぱい取り組もうとする気持ちがあったからでしょう。さあ次は、世界文化遺産を巡る「修学旅行」です。